

歯周病を考える



8020 (80歳になっても20本以上自分の歯を保っている状態)を目指している現在、むし歯だけが歯の病気ではありません。それよりもはるかに恐ろしいのが「**歯周病**」！歯が抜けるだけにとどまらず、その猛威は全身をも侵すこととなります。歯周病を良く知ることにより予防に心がけましょう。

歯石とプラーク(歯垢)について



プラークは細菌を大量に含んでいる軟らかいかたまりです。食べかすや唾液が付着してできます。

プラークは歯ブラシで容易に取ることが出来るので、この段階で完全に除去しましょう。



時間が経つとプラークが石灰化して硬い歯石に変化してきます。

硬くなった歯石は歯ブラシで容易に取ることが出来なくなります。

下顎前歯の内側や上顎奥歯の外側に特によたまります。



歯石の表面はザラザラしていて歯肉を刺激し、さらにプラークがたまり易くなります。

このプラーク中の大量の細菌が出す毒素によって歯肉や歯槽骨が侵され、ますます歯周病が悪化していきます。



歯石は歯ブラシでは取れないので、歯科医院で取ってもらいましょう。

よく歯磨きをしていても歯石が付いてくることが多いので、半年に一度位は歯科医院で取ってもらうことが必要です。

歯周病の症状と進行

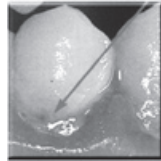
◆ちょっとしたことで出血する



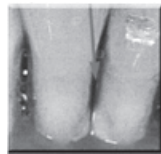
◆冷たいものや熱いものがしみる



◆膿が出る(朝起きた時に口がネバネバする)



◆歯の根が露出する



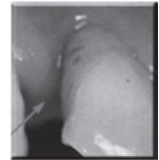
◆膿がひどくなる



◆歯肉が赤く腫れる



◆炎症が進み、歯と歯肉の間に溝ができる(ポケットの出現)



◆歯がぐらつく



◆口臭がひどくなる



◆最後には抜け落ちる

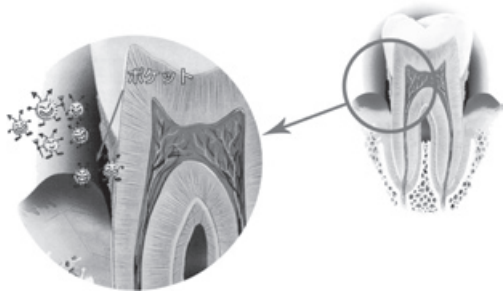


軽症

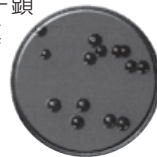
重症

ポケットってなに？

歯と歯肉の間には歯肉溝と呼ばれる溝があります。健康な歯肉での深さは0.5～2mmです。歯周病になるとこの溝が深くなり「ポケット」と呼ばれるようになります。



◆歯周病の原因菌の1つであるPg菌の電子顕微鏡写真



◆歯科医院ではプローブという器具でポケットの深さを測ります。



歯周病の始まりは歯と歯肉の間の歯肉溝にプラークがたまり歯肉に炎症が起こることです。次に歯肉が炎症で腫れあがると溝が深くなり、ポケットが出来ます。そしてポケット内のプラークで歯周病菌がますます増殖し、歯石もでき、歯周病はますます勢力を増してゆきます。さらに、このポケットをすみかとして炎症が広がり、歯を支える土台(歯槽骨)まで破壊してしまいます。